

問題 専門科目 [行政学]

次の問題のうち、どちらか一問を選択して解答しなさい。

問1. 政策共同体(policy community)とは何かを説明した上で、政策共同体が大きな影響力を有すると考えられる事例を任意に一つ取り上げ、民主主義と専門性の観点から、いかなる機能と問題が生じると考えられるか、論じなさい。

問2. 第一線職員(street-level bureaucrats)とは何かを説明した上で、近年の第一線職員研究において争点化されているテーマを一つ選択し、どのような議論が行われているかを論じなさい。

出題の意図

専門科目 [行政学]

問1. 公共政策論の基礎知識と政策哲学的な思考力を問う問題である。まずは特定の政策分野に強い関心を持つ専門家、官僚、利益団体などからなり、政策形成に参加するメンバーが固定的だという「政策共同体」の特徴を明示した上で、何らかの事例に即して説明することが求められる。

事例の説明は、理論の理解と整合的であれば何でも問わない。例えば教育分野の場合、文部科学官僚や都道府県・市町村の教育委員会などが「政策共同体」の主要メンバーとして挙げられるであろうし、建設分野の場合は建設系の族議員や業界団体などが主要メンバーとなるだろう。

民主主義と専門性の観点としては、「政策共同体」が関係者による閉鎖的なネットワークであることから、開放性の不足によって民主性が確保されないことや、専門家集団内部の意見対立が反映されない可能性などの指摘が考えられる。

問2. 行政学の基礎知識と先行研究の理解力を問う問題である。第一に、マイケル・リプスキーが提起した第一線職員論について、彼らが直に市民と接することによって生じるであろう「第一線職員のジレンマ」や裁量による実質的な政策形成などの論点を説明する必要がある。

そのうえで第二に、第一線職員論に関連した近年の研究テーマを任意にとりあげてを求めるが、その内容は問わない。例えば、代表的官僚制論の観点なら、第一線職員の人種やジェンダーが市民に対して与える影響（黒人市民は黒人警察官の職務質問に同意しやすいか、など）が考えられる。あるいは、デジタル化論の観点なら、デジタル・ツールの利用（デジタルデバイスや生成AI）が第一線職員の裁量に与える影響等も考えられる。